

中学地理プリント（過去問類似）

アジア州

名前

得点

/8

問1 東南アジアの10か国が加盟し、地域の政治・経済・文化における相互の協力を進めることを目的として設立された地域協力機構を何というか、名称を選びなさい。（2016年 兵庫公立入試 類似）

1. ASEAN（東南アジア諸国連合） 2. EU（欧州連合） 3. APEC（アジア太平洋経済協力） 4. TPP（環太平洋パートナーシップ協定）

問2 南アジアでは、半年ごとに風向きが変化する季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。夏にインド洋からヒマラヤ山脈に向かって吹く湿った風が多く、雨をもたらすことを利用して、ガンジス川の中・下流域で盛んに栽培されている農作物を次の中から選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 米 2. 小麦 3. 綿花 4. コーヒー

問3 日本企業がベトナムなどの海外に生産拠点を移転させる背景には、生産コストをめぐる国際的な要因があります。日本の月平均賃金が約3000ドル弱であるのに対し、ベトナムが約300ドル強という状況において、この賃金格差が企業活動に与える影響についての説明として適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。 2. 現地の労働者の賃金を日本並みに引き上げることで、現地でのブランドイメージを向上させる。 3. 労働力の確保よりも、現地の最先端の製造技術を日本へ逆輸入することを主な目的とする。 4. 生産コストの低減よりも、現地の環境規制を回避することを最大の目的として移転する。

問4 二酸化炭素の年間総排出量が2000百万トンを超えて世界でも有数の排出国となっている一方で、膨大な人口を抱えるために国民1人あたりの国内総生産（GDP）は相対的に低い水準にとどまっている国はどこですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. インド 2. 中国 3. ブラジル 4. 南アフリカ共和国

問5 西アジアに位置し、イスラム教の聖地であるメッカを国内に抱えるサウジアラビアなどの地域において、人々の生活に深く根付いている習慣として正しいものはどれですか。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. ラマダンと呼ばれる期間には、日の出から日没まで飲食を断つ儀式が行われる。 2. 一日に三回、自分たちが住んでいる地域の中心都市に向かって礼拝を行う。 3. 食事の際には左手を清浄な手と考え、主に左手を使って料理を口に運ぶ。 4. 殺生を禁じる教えに基づき、全ての動物の肉を食べる習慣がない。

問6 日本の食料輸入において、魚介類や野菜・果実の輸入相手国として1位を占める国との貿易関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 地理的な近接性と生産コストの低さを背景に、日本のスーパーマーケットなどで販売される生鮮食品や加工食品の主要な供給源となっている。 2. 広大な国土を活かした企業的な大規模農業が特徴であり、主に小麦やトウモロコシといった穀物の供給において1位となっている。 3. 熱帯の気候を利用したプランテーション農業が盛んであり、バナナやエビなどの特定の品目に特化した輸出が中心である。 4. 広大な乾燥帯での放牧による畜産が盛んであり、牛肉や羊毛といった畜産物の輸入額において不動の1位を維持している。

問7 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。（2024年 佐賀公立入試 類似）

1. 少子高齢化による労働力不足 2. 死亡率の上昇による人口急減 3. 都市人口の過度な集中 4. 平均寿命の短縮化

問8 東南アジアに位置し、赤道直下の多くの島々からなるインドネシアでは、近年、急速な開発にともない貴重な熱帯雨林が減少していることが国際的な課題となっています。この開発の主な目的となっている農産資源として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 加工食品や洗剤の原料となる油やし（パーム油） 2. パンや麺類の原料となる広大な農地での小麦 3. 地中海沿岸で広く栽培されるオリーブ 4. 衣料品の原料となる乾燥帯での綿花

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ASEAN (東南アジア諸国連合)	東南アジア諸国連合 (ASEAN) は、1967年の結成当初は5か国でしたが、冷戦の終結などを経て現在はミャンマーやベトナムを含む10か国が加盟しています。域内の平和と安定を維持するだけでなく、関税の撤廃などを通じた経済の活性化や、文化的な交流を深める重要な役割を担っています。
問2	答え 1 米	南アジアのガンジス川流域では、夏の季節風 (モンスーン) がインド洋から湿った空気を運ぶため、非常に降水量が多くなります。稲の生育には大量の水を必要とするため、この気候特性を活かして米の栽培が盛んに行われています。一方、より乾燥した地域や降水量の少ないインダス川流域などでは小麦の栽培が中心となります。
問3	答え 1 安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。	企業が海外進出を検討する際、特に製造業においては人件費がコストの大きな割合を占めます。統計に示されているような10倍近い賃金格差は、企業にとって大きな魅力となります。低賃金労働力を活用して安く製品を作るとは、消費者に低価格で提供できることを意味し、これがグローバル経済における大きな強みとなります。
問4	答え 1 インド	インドは世界最多の人口を抱え、急速な経済発展の過程にあります。エネルギー源を安価な石炭に依存しているため、国全体の二酸化炭素排出量は中国やアメリカに次ぐ規模に達していますが、国民の所得水準を示す1人あたりの国内総生産 (GDP) は、他の新興経済発展国 (BRICS) の国々と比較してもまだ低い段階にあるのが統計上の大きな特徴です。
問5	答え 1 ラマダンと呼ばれる期間には、日の出から日没まで飲食を断つ儀式が行われる。	イスラム教を信仰する地域では、一日に5回の礼拝を聖地メッカの方角に向かって行う。ラマダン (断食) はイスラム教徒の義務の一つであり、約1ヶ月間、日中の飲食を控えることで信仰心を高める。また、生活習慣として左手は「不浄の手」とされているため、食事には右手を用いるのが一般的である。
問6	答え 1 地理的な近接性と生産コストの低さを背景に、日本のスーパーマーケットなどで販売される生鮮食品や加工食品の主要な供給源となっている。	2008年時点の統計で農水産物の輸入額1位である中国は、日本に近いという利点があるため、輸送時間が短く済む野菜などの生鮮食品の輸出に適しています。また、安価な労働力を背景に、現地で栽培・加工してから日本へ輸出する「開発輸入」も盛んに行われてきました。
問7	答え 1 少子高齢化による労働力不足	長年にわたる一人っ子政策の結果、出生率が大幅に低下したことで、将来的に現役世代が減り、高齢者の割合が高まる「少子高齢化」が深刻化しています。これにより、経済成長を支えてきた豊富な労働力が不足することが、中国経済にとっての大きな懸念材料となっています。このため、近年では一人っ子政策が廃止され、出産を奨励する方針に転換されています。
問8	答え 1 加工食品や洗剤の原料となる油やし (パーム油)	インドネシアやマレーシアでは、世界的な需要が高まっているパーム油を生産するため、油やしのプランテーション (大規模農園) の開発が優先されてきました。この開発のために広大な熱帯雨林が伐採されたり、泥炭地が乾燥させられたりしており、生物多様性の喪失や二酸化炭素の排出が大きな問題となっています。